

## ◎グラウンドアンカーの基礎知識

### グラウンドアンカーの試験

グラウンドアンカー（以下「アンカー」と呼ぶ。）の設計、施工、試験については、地盤工学会が平成 24 年に制定した『グラウンドアンカー設計・施工基準』に従い、行っております。

地盤工学会基準において、アンカーの試験については、次のように規定されています。

#### 第 8 章 試験

##### 8.1 試験

設計に必要な諸定数などを決定するための基本調査試験、実際に使用するアンカーの性能を確認するための適性試験および確認試験を行う。

アンカーの使用目的に対して適切に設計を行うとともに、適切に施工されているかどうかをアンカーの試験によって確認します。

#### 1. 【設計前に行う試験】

##### (1) 「基本調査試験」

アンカーの設計に必要な諸定数を決定するために行います。

#### 2. 【施工後に行う試験】

アンカーの施工後には、実際に使用するアンカーの性能を確認するために、すべてのアンカーについて「適性試験」または「確認試験」が行われます。

##### (1) 「適性試験」

アンカーの一部から選定して、実際に使用するアンカーを多サイクルで所定の荷重まで載荷して行います。

##### (2) 「確認試験」

適性試験に用いたアンカーを除くすべてのアンカーについて、実際に使用するアンカーに 1 サイクルで所定の荷重まで載荷して行います。

これらのアンカーの試験については、日本アンカー協会が認定した専門技術者である「グラウンドアンカー施工士」が地盤工学会基準に則り実施いたします。

さらに、アンカーの試験結果は、日本アンカー協会が監修した解析ソフトである「グラウンドアンカー試験管理ソフト」を用いて、試験報告書に纏められます。